



2022年5月13日

各位

会社名 新コスモス電機株式会社
代表者名 代表取締役社長 高橋 良典
(東証スタンダード市場・コード 6824)
問合せ先 取締役上席執行役員
管理本部長 村田 泰造
(TEL.06 -6308 -3112)

新コスモス電機グループ「中期経営計画 2022-2024」策定について

新コスモス電機株式会社（代表取締役社長：高橋良典）は、このたび、新コスモス電機グループの「中期経営計画 2022-2024」を策定いたしました。

1. 前中期経営計画「中期経営計画 2019-2021」のまとめ

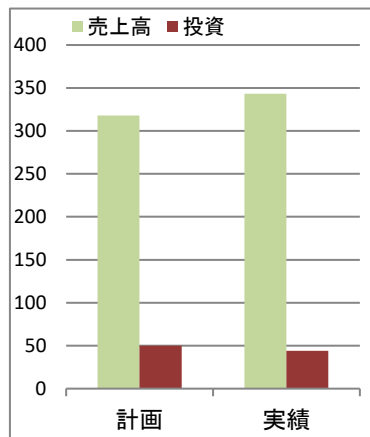
当社グループの前中期経営計画である「中期経営計画 2019-2021」では、グループの最大の目標である「世界中からガス事故をなくす」ため、当社グループのコア・コンピタンスである「ガスセンサ・ガスセンシング技術」を軸に成長戦略・基盤戦略を策定し、以下の定性・定量目標達成に向けて事業に取り組んでまいりました。

定性目標	お客様が求める製品品質・サービス品質を追求し、お客様に選ばれる新コスモス電機グループを目指す	
定量目標	連結売上高	2021年度 318億円以上
	海外売上高比率	2021年度 35%以上
	営業利益率	安定的に10%以上を確保する

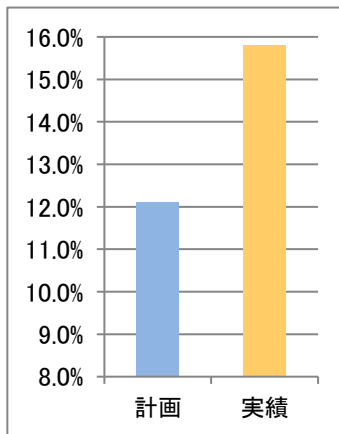
当期間においては2019年12月以降、新型コロナウイルスによる感染症が世界中で猛威を奮い、社会は急激な変化を余儀なく求められ、当社グループの事業もコロナ禍の影響を大きく受けました。このような環境下においても、当社グループは定性目標として掲げた「お客様に選ばれる新コスモス電機グループを目指す」ため、「常にお客様目線で製品の開発に努め、世界中のガス事故をなくし、世界中の人を笑顔にする」との想いを持ち、「センシング技術とサービスで世界中の安全・安心・快適な環境創りに挑戦する」というグループの使命に取り組みました。

営業活動においては、北米を中心とした電池式ガス警報器やCO2センサなどの海外販売強化に加え、コロナ対策関連商品の投入や、CO2センサや空気質センサ等競争力のあるセンサの拡販に努めました。技術面ではMEMSセンサの長寿命化やIoTなどの新技術に対応した商品を市場に投入しました。設備投資関連では特に海外製造拠点の設備投資を積極的に行ないました。

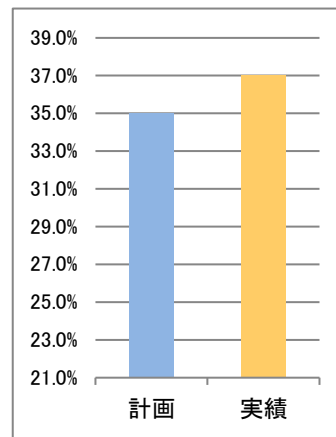
「中期経営計画 2019-2021」最終年度の結果



売上高と設備投資 (単位：億円)



売上高営業利益率



海外売上高比率

その結果、中期経営計画最終年度は、売上高 343 億 3,500 万円、売上高営業利益率 15.8%、海外売上高比率 37.0%となり、定量目標とした連結売上高・海外売上高比率、営業利益率の目標をすべて達成することができました。コロナ禍の影響を受け、営業活動などは予定通り進めることができなかった面があった一方で、Web システムを利用した会議の推進やリモートワークなど多様な働き方をスタートさせ、コロナ禍でありながら生産性の高い仕事の進め方を実現しました。

2. 「中期経営計画 2022-2024」の基本的な考え方

当社グループは「センシング技術とサービスで、世界中の安全・安心・快適な環境創りに挑戦する」ことをグループの使命に掲げています。この使命のもと、「イノベーションによる安全・安心・快適な環境創り」「世界市場におけるプレゼンスの向上」「社会貢献」を中長期的なテーマとして、当中期計画期間の目標を設定して事業に取り組んでまいります。

3. 「中期経営計画 2022-2024」について

当社グループの最大の目標である「世界中からガス事故をなくす」ため、当中期経営計画期間を「新たな挑戦、新たな価値創造に取り組み、持続可能な成長軌道を歩むための第一歩」と位置づけ、「お客様に選ばれ、社会に役立つ新コスモス電機グループ」を目指してまいります。定量目標は「連結売上高：2024 年度に 450 億円以上、海外売上高比率：2024 年度に 40%以上、営業利益率：12%以上を目指す」とし、当社グループのコア・コンピタンスである「ガスセンサ・ガスセンシング技術」を軸に以下の成長戦略・基盤戦略・サステナビリティ戦略に取り組んでまいります。

定性目標

「新たな挑戦、新たな価値創造に取り組み、持続可能な成長軌道を歩むための第一歩」と位置づけ、「お客様に選ばれ社会に役立つ新コスモス電機グループ」を目指す

定量目標

連結売上高	2024 年度 450 億円以上
海外売上高比率	2024 年度 40%以上
営業利益率	12%以上を目指す

2022 年度（初年度）と 2024 年度（最終年度）のセグメント別連結売上計画

単位：百万円

	2022 年度（初年度）	2024 年度（最終年度）
家庭用ガス警報器関連	19,523	21,800
工業用定置式ガス検知警報器関連	8,849	10,200
業務用携帯型ガス検知器関連	6,941	10,000
その他	966	3,000
合計	36,278	45,000
営業利益 ※カッコ内は営業利益率	4,303 (11.9%)	5,400 (12.0%)
ROE	6.5%	7.4%

成長戦略

コア・コンピタンスであるガスセンシング技術を活用し、MEMS センサをはじめとする世界で競争力のある製品を展開し、新コスモス電機グループのプレゼンス向上を目指します。

グローバル展開の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・日本・北米・中国において競争力のある CO センサ、メタンセンサ、メタン警報器の拡販を進めます。 ・電池式警報器による海外での家庭用市場の拡大と創出に取り組みます。
ガスセンサの展開による新市場の創出
<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心市場に加えて、快適・健康市場におけるガスセンサの展開に取り組みます。 ・CO センサや VOC センサを活用した火災予知の可能性に取り組みます。
保安の高度化やニーズの変化への対応
<ul style="list-style-type: none"> ・AI 搭載や IoT 対応のガス警報器、ガス検知器の開発を進め、スマート保安・スマートホームといったニーズに対応します。 ・エレクトロニクス・燃料電池・次世代自動車といった拡大市場に向けた取り組みに注力します。

基盤戦略

持続可能な成長軌道を歩むための第一歩として、技術開発・生産・人材育成に積極的に取り組み、これまで以上にグローバルな展開を行ないます。

生産体制とサプライチェーンの見直し
<ul style="list-style-type: none"> ・センサや製品の生産増に対応するため、生産設備の安定的な増強や生産体制の在り方の再構築を進めます。 ・パンデミックや自然災害時でも安定的に製品が供給できるよう BCP の整備・見直しを行ない、生産リスクの低減に向けた取り組みに注力します。 ・部品供給不足などに対応するため、サプライチェーンの見直しに取り組みます。
技術開発力の強化
<ul style="list-style-type: none"> ・組織や人材の充実をはかり、センサや製品開発力を強化して、競争力のある製品の開発に努めます。 ・MEMS センサをはじめとする各種センサの性能向上・品質向上に取り組みます。

人材育成
・グローバル展開に必要な、世界中で活躍でき、信頼される人材の育成に努めます。
生産性の向上
・多様な働き方やDXの推進などにより、生産性の向上を目指します。
ガバナンス経営の推進
・BCP計画などのリスク管理、コンプライアンス、ガバナンス強化などに努め、企業価値向上をはかります。
グループ経営の強化
・海外展開におけるグループ会社間の連携をこれまで以上に強化し、事業活動の生産性向上を目指します。
・技術開発や生産における協業を推進します。

サステナビリティ戦略

当社グループは、ガスセンサ・ガスセンシング技術を通じて、これまで当社グループの使命として掲げる「安全・安心・快適な環境作り」に貢献してきました。今後についてはさらにカーボンニュートラルへの対応やSDGsへの取り組みなどを推進し、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、持続可能な企業価値の向上を目指します。

安全・安心で、持続可能な社会づくりに貢献します	 
・ガスセンサ・ガスセンシングによる危険予測・予知により、事故の未然防止や働く人の安全確保に貢献します。	
・交通事故減少に貢献するため、アルコール検知器事業を推進します。	
CO2排出削減に取り組むとともに、社会のカーボン量削減に貢献します	 
・グループの事業活動におけるCO2排出量削減に取り組みます。	
・CO2センサやCO2モニタリングシステムの販売を通じて、社会のカーボン量削減に貢献します。	
調達から廃棄までを考慮し、持続可能な循環型の生産を目指します。	  
・製品ライフサイクルを通じて、廃棄物の発生減少や再利用に取り組みます。	
・当社製品に使用される化学物質を適切に管理し、情報開示できる体制の構築に取り組みます。	
クリーンエネルギーの安全な利用に貢献します	  
・水素やアンモニアといった脱炭素の取り組みに寄与するエネルギーの安全利用を、ガスセンサ・ガス警報器を通じてサポートします。	
多様な働き方を推進し、働きがいの向上に取り組めます	  
・大切な人的資本である社員への教育・訓練・福利厚生（健康）などを通じた投資を拡大・強化するとともに、働き方の多様化に対応した制度や設備の充実をはかり、個人個人の働きがいと生産性の向上に取り組めます。	
・グローバル企業として、国際規範に沿ったガバナンスの強化に取り組めます。	

投資戦略

当中期経営計画期間においては、「生産増への対応」「成長戦略を支える新製品の開発」「海外拠点の整備」など以下を中心に、3年間で100億円の投資を計画しております。

1. ガス警報器・ガスセンサの生産増対応や、BCP対応のための工場建設などを含めた設備投資
2. 海外における拠点整備のための投資
3. MEMS センサをはじめとする各種センサや、AI や IoT などの新技術に対応した製品開発投資や知的財産活用に向けた投資
4. 社員教育制度の整備、福利厚生の充実、働き方の多様化への対応など、社員の働きやすさや働きがいの向上に向けた投資

株主還元

株主還元につきましては、安定して継続した配当を実現することで、株主の皆様への利益還元につとめてまいります。配当性向は業績や投資計画とあわせて総合的に勘案していきます。

以上